

市民意識調査 結果報告

調査の目的・方法

市民の意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。その主な項目の結果を取りまとめましたので報告します。

お忙しい中、調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

市民意識調査は、市民から単純無作為抽出された20歳以上の男女2,000人を対象とし、郵送にて調査しました。有効回収数は1,175件、回収率は58.8%で、平成26年度より1.5%増加しました。

詳細は、市ホームページをご覧ください。

アンケートのテーマ

アンケートは10の大きなテーマに分かれています。

- ・「居住環境」について（継続調査）
- ・「市の取り組みの満足度」について（継続調査）
- ・「総合計画の指標に関する項目」について（継続調査）
- ・「幸福度と健康づくり」について（継続調査）
- ・「三島市広報番組の視聴状況」について（継続調査）
- ・「災害対策」について（継続調査）
- ・「自治会・町内会」について（新規調査）
- ・「新エネルギー・省エネルギー設備」について（新規調査）
- ・「男女共同参画」について（新規調査）
- ・「消費者教育」について（新規調査）

平成27年度市民意識調査結果の特徴

特徴 1 満足率は、「居住環境」や「三島市への愛着率」で高くなっています

(1) 毎年高い満足率を得ているもの

三島の住みやすさや愛着度について、「居住環境の満足率」88.2%（26年度87.2%）、「三島市への愛着率」82.8%（26年度83.2%）と、今年も高率となっています。（満足率＝「満足」＋「やや満足」）

(2) 生活環境の満足度

「水のきれいさ」74.3%（26年度75.8%）、「空気のさわやかさ」70.8%（26年度70.6%）、「身近な緑や自然の量」61.9%（26年度59.6%）の順でした。

「景観（自然風景・まち並み）の美しさ」は今年度が55.2%と26年度（53.2%）よりも上昇しています。

特徴 2 将来の三島市像については、健康・福祉、環境、歴史・文化などに引き続き期待が集まっています

(1) 三島市が将来どのような町になったらよいか

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」が上位3件でした。続く4位に「活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市」が入っています。

▶三島市がどのような町になったらよいか（1つ選択）

	27年度（前年度）
保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	33.9%（36.1%）
自然や環境に優しい安らぎのある都市	17.2%（15.6%）
歴史や文化を大切にした風格のある都市	12.8%（11.2%）
活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	9.0%（6.7%）

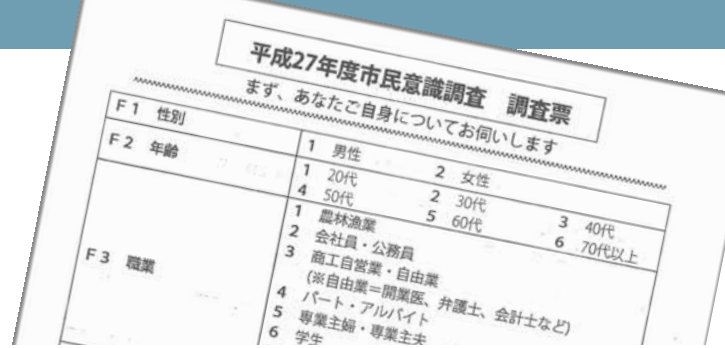
(2) 将来の都市規模

「現状のまま、人口11万人程度」に次ぎ、「伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度」が多く、3番に「県東部の中核都市、人口30～40万人程度」が続きました。

▶将来の都市規模（1つ選択）

	27年度（前年度）
現状のまま、人口11万人程度	35.1%（37.4%）
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	34.5%（32.9%）
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	14.6%（15.2%）
人口20万人程度	8.6%（8.3%）
人口70万人程度	4.5%（3.5%）

問合せ 市民相談室 (☎983-2621)



特徴 3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足度が高く、歩道・生活道路の整備やバスなどの公共交通の充実などに不満度が高くなっています

(1) 満足度上位5項目

市の施策に対する、市民の満足度（充実度）は、「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」が高くなっています。「ガーデンシティみしま」、「スマートウエルネスみしま」などの取り組みの成果が表れていると推測されます。

項目別満足率（＝「満足」＋「やや満足」）

項目	分類	27年度 (前年比)	前年度 (順位)
1 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	60.9% (-8.4%)	69.3% (1位)
2 「広報みしま」による市政情報の提供	協働行財政	53.3% (-5.3%)	58.6% (2位)
3 公園・水辺空間の整備	環境保全	44.2% (-5.4%)	49.6% (3位)
4 ゴミ・リサイクル対策	環境保全	44.0% (-3.3%)	47.3% (5位)
5 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成	都市基盤	43.7% (-4.3%)	48.0% (4位)

(2) 不満度上位5項目

不満度（不足度）は、「歩道・生活道路の整備」や「バスなどの公共交通の充実」などで高くなっています。また、「三島駅周辺の整備」も26年度5位から4位に不満度が上昇しています。

項目別不満率（＝「不満」＋「やや不満」）

項目	分類	27年度 (前年比)	前年度 (順位)
1 歩道の整備	都市基盤	42.2% (+0.3%)	41.9% (1位)
2 生活道路の整備	都市基盤	40.0% (+2.6%)	37.4% (2位)
3 バスなどの公共交通の充実	都市基盤	33.5% (-2.2%)	35.7% (3位)
4 三島駅周辺（北口・南口）の整備	都市基盤	32.9% (-0.1%)	33.0% (5位)
5 にぎわいある商業・商店街づくり	産業振興	30.4% (-3.8%)	34.2% (4位)

特徴 4 市民の幸福度は国の平均より高くなっています

(1) 幸福感について

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思えますか。』の問いに対し、市民の平均点6.79は昨年度より上昇し、国の平均点6.38より0.41点高く、自分が幸福と感じている人が多いようです。

▶幸福度平均点、三島市と国の比較

	27年度	26年度	25年度
三島市	6.79	6.72	6.76
国(※)	-	-	6.38

(※) 厚生労働省「健康意識に関する調査」より（対象20歳以上・5,000人）平成26年2月に実施

(2) 幸福感を判断する際の重視事項

重視事項は、①健康状況②家族関係③家計の状況④精神的なゆとり⑤自由な時間の順でした。

国の調査では、①健康状況②家計の状況③家族関係④精神的なゆとり⑤自由な時間の順です。

▶幸福感を判断する際の重視事項（複数回答可）

	27年度（前年度）
1 健康状況	61.0% (60.7%)
2 家族関係	54.0% (58.6%)
3 家計の状況	50.1% (50.7%)
4 精神的なゆとり	37.1% (44.2%)
5 自由な時間	34.6% (29.7%)